



株式会社積田電業社

代表取締役

つみた まさる
積田 優 氏



「今後もお客様から信頼される会社であり続けるため、社会の求めるトレンドに対応しうる施工技術を積極的に取り入れ、自らを磨き続け、最高のサービスを提供したい」と語る積田社長

電気設備工事を主軸としつつ、事業の多角化に挑戦している同社の積田社長に話を伺いました。

★貴社の概要について、教えてください。

積田 1940年に祖父が創業し、当初は軍事用通信機器関連の仕事を行っていました。その後、家電販売や電気機器、音楽機器の修理を主軸に高度成長期と共に事業を拡大し、2代目の父、3代目の私とバトンを引き継ぎ、現在は総合電気設備工事会社として、各官公庁施設、ビル、商業施設、住宅施設、太陽光発電設備工事など、幅広い分野の工事を手掛けています。これまでに埼玉スタジアム、さいたまスーパーアリーナ、埼玉芸術劇場、埼玉大学など、大型工事も多く施工しています。

さいたま市浦和区の本社のほか、東松山支店や東京支店を構え、他都県の工事を受注しています。官公庁向けの公共工事が多いです。

★貴社の強みは何ですか？

積田 一つ目は、地域密着と信頼関係で結ばれた

株式会社積田電業社



所在地 さいたま市浦和区針ヶ谷1-8-18
 代表者 代表取締役 積田 優 氏
 事業内容 電気設備新設工事・改修工事、消防設備工事、太陽光発電設備工事、上下水道プラント工事 他
 資本金 4,500万円 従業員数 41名
 TEL 048-832-3691
<https://tsumita.co.jp>



パートナー企業の多さです。地元企業とのネットワークで繁忙期や突発的な工事でも即時対応ができるほか、大手企業や異業種と連帯を組むことで、自社だけでは対応が難しい大規模プロジェクトや複雑な技術課題を伴う案件も受注・施工が可能です。そして、常に最新のソリューションを提供できる体制を構築しています。

二つ目は、「高い技術力と対応力」です。1級電気工事施工管理技士や第一種電気工事士、1級土木施工管理技士などの国家資格を持つ技術者が多数在籍し、専門性の高い電気設備工事から発電・再生可能エネルギー工事や情報通信設備工事まで幅広い工事に対応できる体制が整っています。品質・安全の両面で高い水準を維持している点で、多くの発注者から評価をいただいています。

また、現在の公共工事は価格だけでなく、実績や技術者数、財務状況、工期順守、社会貢献度などを総合的に評価する「総合評価落札方式」が多く、当社は若手の育成や地域貢献、環境対応にも早くから取り組んできたため、こうした総合評価で高

100年企業に向け、新たな挑戦とさらなる革新を



さいたまスーパーアリーナ 照明設備改修工事



埼玉スタジアム2002 電気設備改修工事



さいたま市浦和区の本社ビル

い評価を得られています。

これらの積み重ねが、他社との差別化にもつながっています。

★新たな事業にも挑戦されているそうですね。

積田 電気設備工事を主軸としつつ、将来を見据えた事業多角化にも挑戦しています。

まず、省エネ対応やエネルギーの見える化および電気料金の見直しをサポートする会社をグループ会社として立ち上げました。さらに、農業関係プラントの設計、製造、施工を手掛ける企業にも資本参画いただき、異業種領域への取り組みも広がりつつあります。そして、各グループ会社とのシナジーを生かし、カーボンニュートラルに対応すべく、太陽光設備や系統用蓄電所をはじめとする、自然エネルギー関連工事を専門に担当するエネルギーソリューション事業部を立ち上げました。

こうした新たな事業展開を通じて、従来の建設・設備業の枠を超え、社会やお客様に「安心」「安全」「快適」を感じていただければと考えています。

★今後の展開・抱負は

積田 これからも、お客様から信頼される会社であり続けるため、DXをはじめとする最新の施工技術を積極的に取り入れ、安心して高品質なサービスを提供していきます。

さらに、埼玉県の「多様な働き方実践企業」として、子どもの看護休暇や男性の育児支援などを積極的に推進し魅力ある企業を目指します。また、教育制度の充実、若手や女性、外国人を含む多様な人材が活躍できる体制づくりを通じて、多様性を尊重し、新たな価値を生み出していく会社になりたいです。

当社の企業理念は「人を照らし、社会を照らし、未来を照らす」です。設備工事という仕事の先に、誰かの日常や社会の安心や安全があります。私たちが手掛ける電気や設備は、人の暮らしを支え、未来を明るくするものです。その理念を胸に、グループ関連会社と共に、第2、第3の柱となる事業を育てながら、100年企業へ向けて持続的な成長を続けていきたいと考えています。

(敬称略)